別紙２

五條病院周辺地区まちづくり基本構想

平成２８年２月２２日

五條市

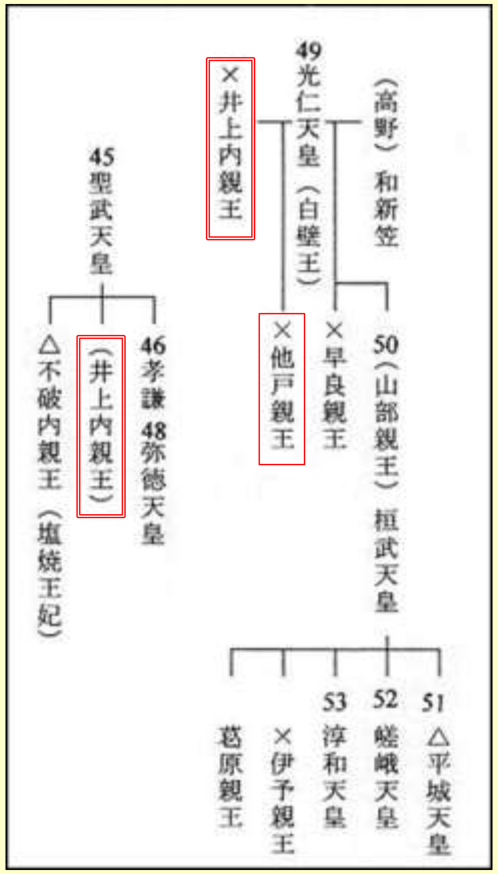
■　五條市の沿革・歴史（７００年頃）

■井上内親王(いがみないしんのう)

～皇后を追われ五條に移り住んだ井上内親王～

井上内親王(717－775)
第45代**聖武天皇の第１皇女**。母は県犬養広刀自(あがたのいぬかいのひろとじ)。第49代**光仁天皇の皇后**。
聖武天皇の第１皇女であり、光仁天皇の皇后であった井上内親王は、政権争いに巻き込まれ、**無実の罪**(光仁天皇、難波女王(光仁天皇の同母姉)を呪うまじないをした罪)**により**、御子・他戸親王(おさべしんのう)とともに**宇智郡(五條市)に配流**され、逝去。

井上内親王関係皇系図



数字：天皇即位順
・　：太政大臣などになった皇族
×　：非命に倒れた人
△　：失脚した人

井上内親王関係年表

	天皇	年号	西暦	事項
奈良時代	元正	養老元	717	井上内親王誕生
		5	721	井上内親王（5歳）斎内親王となる
	聖武	神亀4	727	井上内親王（11歳）伊勢神宮に出仕
	淳仁	天平6	734	山部親王誕生
	称徳	天平宝字5	761	他戸親王誕生
	光仁	宝亀元	770	光仁天皇（62歳）即位　井上内親王（54歳）立皇后
		2	771	他戸親王（11歳）立皇太子
		3	772	井上内親王廃皇后・他戸親王廃皇太子（巫蠱の罪＝天皇を呪うまじないをした罪）
		4	773	10月　厭魅の罪（難波女王を呪うまじないをした罪）で大和宇智郡没官の宅に幽閉される。井上内親王57歳、他戸親王13歳
		6	775	4月27日（25日ともいわれる）母子逝去（暗殺される？）井上内親王59歳、他戸親王15歳
		7	776	2月　天皇600人の僧に金剛般若経を読ませる
		8	777	12月　母子の墳墓を改葬し御墓と称させ、守冢一烟を置く
		9	778	1月　勅使壱志濃王・石川朝臣垣守ら下向、御墓改装
		10	779	藤原百川没す（38歳）
	桓武	延暦元	782	桓武帝即位（45歳）　早良親王立皇太子
		3	784	長岡遷都
		4	785	早良親王　廃皇太子（9月）　淡路配流・逝去（10月）
平安時代		13	794	平安遷都
		19	800	7月　葛井王下向　井上内親王皇后に復す
		〃	〃	早良親王　崇道天皇の追号を与えられる
		〃	〃	霊安寺建立（御霊神社も祀られたと思われる）

出典)まんがで見る五條市史　井上内親王編

■御霊神社

～政争に巻き込まれた井上内親王の霊を祀る～

井上内親王逝去後、都で天変地異が起こり、悪疫が流行したため、**井上内親王母子の怨霊の祟り**と恐れた朝廷は、勅使従五位下葛井(ちょくしじゅごいのげ　ふじい)王を遣わし**霊安寺を建立(800年頃)**。同時期に**御霊神社も創建**された。
河南の吉原氏と河北の豪族牧野氏との争いを契機として、御霊本宮から10ヶ所に御霊神社が分祀さる(1238年)。更に宇智郡各地に勧請され、御霊信仰が広まる。
現在、五條市内に23ヶ所の御霊神社がある。

五條市の御霊神社

行祭事	1月1日　歳旦祭 4月第4日曜（隔年開催＝西暦偶数年に開催） 太々神楽祭（井上内親王、他戸親王の命日の祭り）餅まき 10月9日　節句祭（井上内親王と火雷神星の対面の祭り）餅まき 10月第4日曜と前日　秋季例祭、御旅所例祭、当歳児御神楽、天平行列（平成29年に井上内親王生誕1300年祭を同時開催の予定） 11月23日　新嘗祭

■　五條市の沿革・歴史（１３００年頃）

■南朝と賀名生

五條市西吉野町賀名生は、**後醍醐天皇**が1336年、吉野へ向かう途中に滞在した地。

1348年、南朝の本拠地の吉野山が焼き討ちにあうと**賀名生に行宮（あんぐう）※が定められる。**その3年後、北朝の天皇が一時的に南朝に降伏。

数か月の間、**南朝は唯一の朝廷となり、賀名生は都として位置付けられた。**南北朝時代に河内や摂津などに遷都されたものの、賀名生は行宮の拠点として位置付けられた。

なお、1863年8月には、明治維新の魁となった尊王攘夷派の志士たち「天誅組」が賀名生皇居跡を訪れた。

南朝と西吉野の歴史年表

できごと	西暦	年号（北朝年号）	西吉野のできごと
[illegible]	1308	延慶元年	
[illegible]	1317	文保元年	
[illegible]	1318	〃 2年	
[illegible]	1324	正中元年	
[illegible]	1327	嘉暦2年	
[illegible]	1331	元弘元年	[illegible]
[illegible]	1332	〃 2年	
[illegible]	1333	〃 3年	[illegible]
[illegible]	1334	建武元年	
[illegible]	1335	〃 2年	[illegible]
[illegible]	1336	延元元年	[illegible]
	1348	正平3年（貞和4年）	[illegible]
	1350	〃 5年（観応元年）	[illegible]
	1351	〃 6年（観応2年）	[illegible]

※天皇が外出したときの仮の御所

出典）五條市HP

■堀家住宅　賀名生皇居跡

後醍醐天皇が吉野へと向かう道中に立ち寄ったといわれる住宅。

現在は国の重要文化財に指定され、南朝三帝の**行宮となった賀名生皇居跡**として残されている。

出典）五條市観光協会HP

出典）五條市観光協会HP

■賀名生の里歴史民俗資料館

平成16年9月にオープン。

後醍醐天皇とゆかりのある品など**西吉野と南朝のつながり**を感じることができる資料や天誅組に関連する資料を展示。

また、農業や林業等の民俗資料を展示し、**昔の人々のくらしを探ることができる**コーナーを設置。 さらに、南朝の行宮がおかれていたころの**天皇と村に住む人々との交流物語を放映**するシアターを設置。

出典）五條市HP

出典）五條市観光協会HP

○ 沿革・歴史的背景から西吉野地域は南北朝時代の日本の中心地であった。

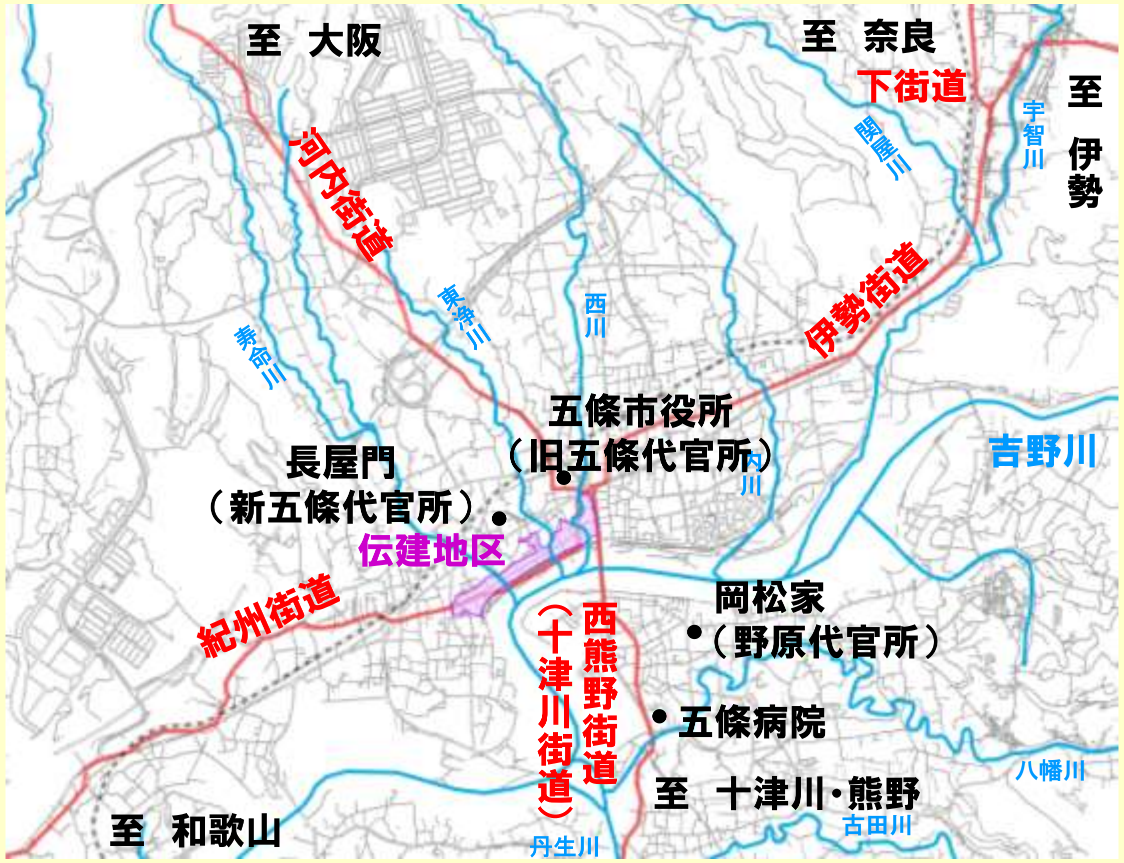
■　五條市の沿革・歴史（１８００年頃）

■交通の要衝

五條市には、和歌山につながる「**紀州街道**」、大阪につながる「**河内街道**」、奈良 につながる「**下街道**」、三重につながる「**伊勢街道**」、五條市を南北に貫く「**西熊野街道**」が存在。

また、かつて水運で盛んであった**吉野川**があり、交通の要衝として古くから**多くの人々や 文化の往来を育んできた天領の町**。

紀州藩の参勤交代や高野山詣り、大峯山詣りなど四方の旅客が行き来し、吉野川を利用する水運の便が良く、**交通の中心地**として物資が五條に集まり、宿場町、市場町としての**近世の五條のまちが確立**。



■南和地域の政治的中心地

市の中心部に代官所（五條代官所、野原代官所）が設置されるなど、**南和地域の政治的中心地**としての役割を果たしてきた。

五條代官所跡長屋門

H27/7/24撮影

■松倉重政と南和地域の商業的中心地

「五條新町」の基礎を築いた松倉重政。慶長5年（1600年）の関ヶ原の戦いで徳川家康に功績を認められ、**一万石の大名として二見城に入城**。

その後、城下町として「五條新町」を創設する際、**商人をまちに招き入れるため「諸役免許（諸税免除）」の免許状を新町の町人に宛て公布**し、現在の「五條新町」の礎をつくる。

松倉重政免許状

出典）常設展 五條の歴史と文化

■重要伝統的建造物群保存地区

紀州街道筋の五條新町地区には古い町並みが存在し、建築年代の判明している民家としては**日本一古い民家**が残り、歴史的町並み保存などが進められている。

当該地区は「伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの」と認められ、「**重要伝統的建造物群保存地区」に選定**（文部科学省文化庁H22.12.24）。

出典）五條市HP

日本最古の民家
栗山邸（重要文化財）

中邸
（奈良県指定文化財）

栗山邸
（五條市指定文化財）

■明治維新発祥の地

五條市は**明治維新の先駆けとなった天誅組義挙の地**であり、市内各地に史跡などが残る。

天誅組出発の図　　出典）五條市HP

○ 沿革・歴史的背景から五條市は歴史の交差点であり、市役所周辺（中心市街地）及び病院周辺は五條市の2大拠点であると言える。

■ 五條市の価値

○ 五條市は、古くから交通の要衝であり、県南和地域の玄関口であり、中心地である。
○ 五條市には、 重要文化財や重要伝統的建造物群保存地区など数多くの資源を有している。
○ 五條市の価値(魅力)は、南側に広がる県内有数の農業地域を抱える雄大な自然資源、北側の古い町並みを含めた歴史・文化資源、南和地域の玄関口となる各種施設及びこれらが融合する五條の姿(個性)である。

◆ 五條市の資源として次のようなものが存在する。

青字:五條中心市街地地区　オレンジ字:五條病院周辺地区　黒字:五條市全体

自然資源

自然環境を構成するもの

①河川：
吉野川（水辺の楽校）、熊野川、舟ノ川、丹生川、西川、東浄川、寿命川、八幡川など五條市に位置する河川
②山地、樹木：
金剛山、紀伊山地、高野山、二見大ムク（国．記念物）
間伐材などの未利用バイオマス
福寿草の群生地（奈良県天然記念物）
③原風景
柿畑の雄大な原風景
五新鉄道跡のある原風景
吉野川の原風景
④農水産品：
柿…出荷量日本一(市区町村単位)
柿の葉寿司、柿ジャム、柿チップ、柿酢など
梅、イチゴ、桜、牡丹、香りごぼう、花みょうが
なす、きゅうり　など
五條高校賀名生分校で栽培された農作物
吉野川やな漁（吉野川活性化プロジェクト）
鮎灰干し（あかねや）
⑤製造品
吉野杉（間伐材）の加工品
（割箸、森林浴チップ（アロマ効果）
五神（五條酒造）
松の友（山本本家）
しょうゆ（ナカコ天然醸造）
五條あかね染

歴史・文化資源

歴史・文化的背景をもつ建造物等

①歴史・文化的資源：
五街道(下街道、伊勢街道、西熊野街道、紀州街道、河内街道)
岡西山城跡（大岡城跡）、二見城跡
代官所(五條代官所：五條市役所・長屋門、
野原代官所：岡松家(県指定文化財))
天誅組（明治維新発祥の地、井沢宜庵、森田節斎　など）
五新鉄道跡
御霊神社本宮（県指定重要文化財）
栄山寺(国宝)　辯天宗総本山
五條文化博物館（安藤忠雄設計）
花火文化(花火師鍵屋弥兵衛)
赤根屋半七(染物屋赤根屋)
星のくに(天文台･プラネタリウム)
ラミダンファンスアラメゾン
（フレンチレストラン）
大峯奥駈道(世界遺産)
高野大峯街道
猫塚古墳等多くの古墳
大塔宮護良親王
賀名生皇居跡(南朝の歴史)
西吉野温泉(きすみ館)
賀名生の里歴史民俗資料館
大塔温泉、二見の川端線跡
宇野源氏の歴史
藤岡家住宅、平井医院（登録有形文化財）、中家住宅(県文化財)
②五條新町
五條新町重要伝統的建造物群保存地区
栗山家住宅（国．重要文化財）／栗山邸（市指定文化財）
五條新町の歴史・文化を継承する施設
まちや館(歴史資料館)／伝承館(歴史資料館)／
大野屋(カフェ･食堂)／岡橋邸｢標｣(研修施設)／
源兵衛(ﾚｽﾄﾗﾝ)／やなせ屋(旅館)／山田旅館(旅館)
五條新町地区に根付く文化
上野公園（県下有数規模の総合体育館整備予定）
③イベント等
吉野川祭り／灯篭流し／御霊神社本宮秋祭り／吉野川こいのぼり
吉野川師走マラソン／奈良・町屋の芸術祭　はならぁと
青空市場／松倉祭り／風鈴街道
念仏寺 陀々堂の鬼走り（国の重要無形民俗文化財）

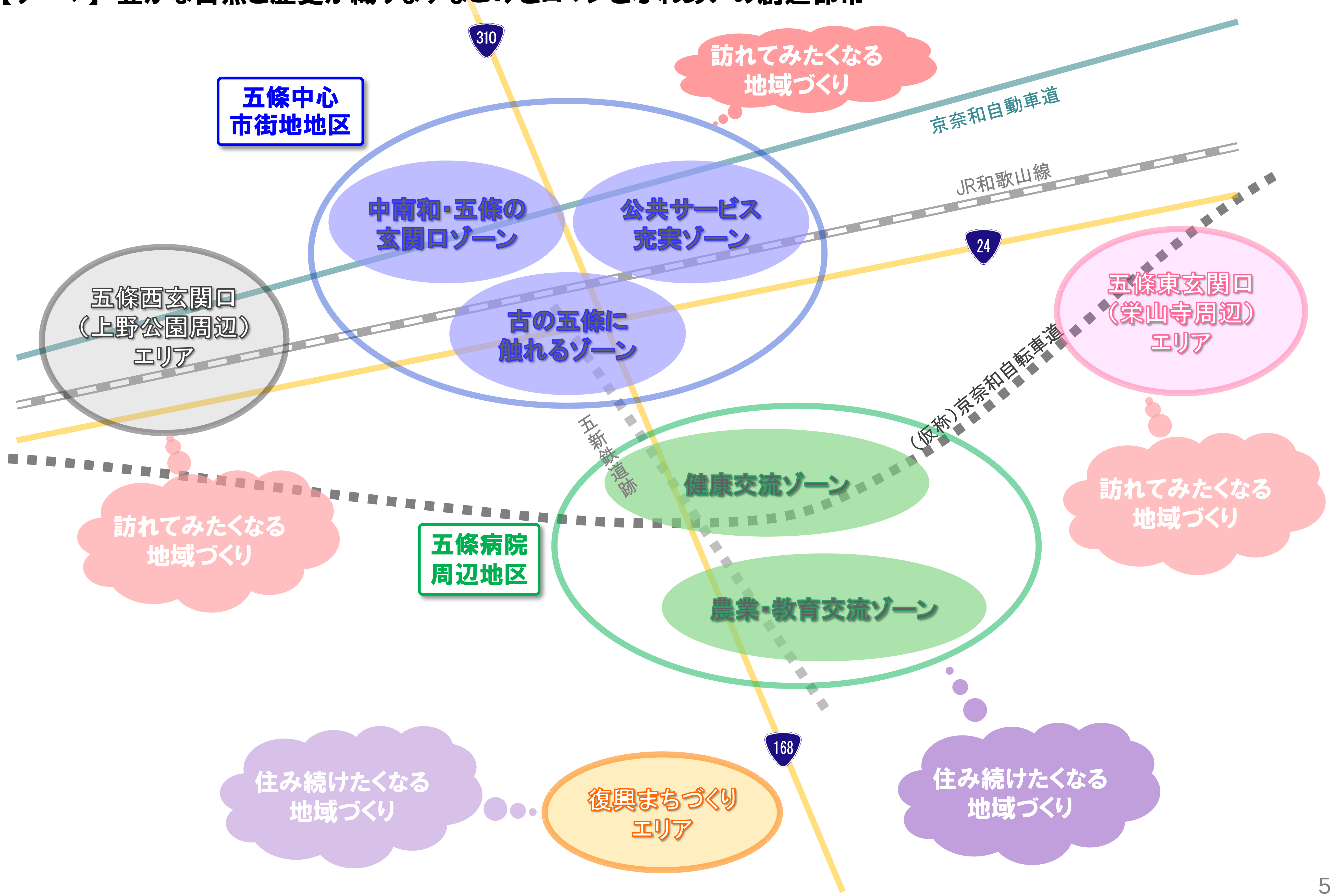
南和地域の玄関口を構成する資源

南和の玄関口を構成するもの

①幹線道路：
京奈和自動車道（五條IC、五條西IC）、国道24号
国道168号（アンカールート：五條新宮道路）
⇒流動の交点、新宮・十津川（吉野・高野山）の玄関口
②公共交通：
JR和歌山線　五条駅、大和二見駅
五條バスセンター
バス路線（八木～新宮までの長距離バス運行、
五條市～新宿間の夜行バス運行）
③その他：
【国の施設】
奈良地方裁判所五條支部　奈良地方検察庁五條支部
奈良地方法務局五條支局
【県の施設】
五條土木事務所
内吉野保健所
五條病院
柿博物館
【市の施設】
カルム五條
老人憩いの家
【その他】
ならクル（自転車道）
紀伊半島災害に対する防災・復旧の拠点　など

■　五條市のまちづくりイメージ

【テーマ】豊かな自然と歴史が織りなすなごみとロマンとふれあいの創造都市



■ 五條市まちづくり基本構想の基本方針

目　的

五條市のブランド力を受け継ぎ、さらに磨き高めることにより、「五條中心市街地地区」「五條病院周辺地区」など各地区を魅力ある地域へと導いていくことを目的として、基本的な考え方や今後の重点的な取り組みをとりまとめるものである。

基本方針

市・県・民間団体などが、協働で各種課題に取り組み、解決に導くことで、さらなる五條市の輝きが放たれるように努めるものである。

基本方針の実現に向けた ３つの柱

維　　持	① ブランド＝価値・魅力（維持しつつ、後世に残し、受け継いでいく価値・魅力）
活用・改善	② アイデンティティ＝個性（価値・魅力を活かし、さらに磨き高めていくことにより、新たに引き出していく個性）
取組体制	③ パートナーシップ＝協働（価値・魅力・個性を共有し、目標に向かって取り組む協働）

○ 対象エリア

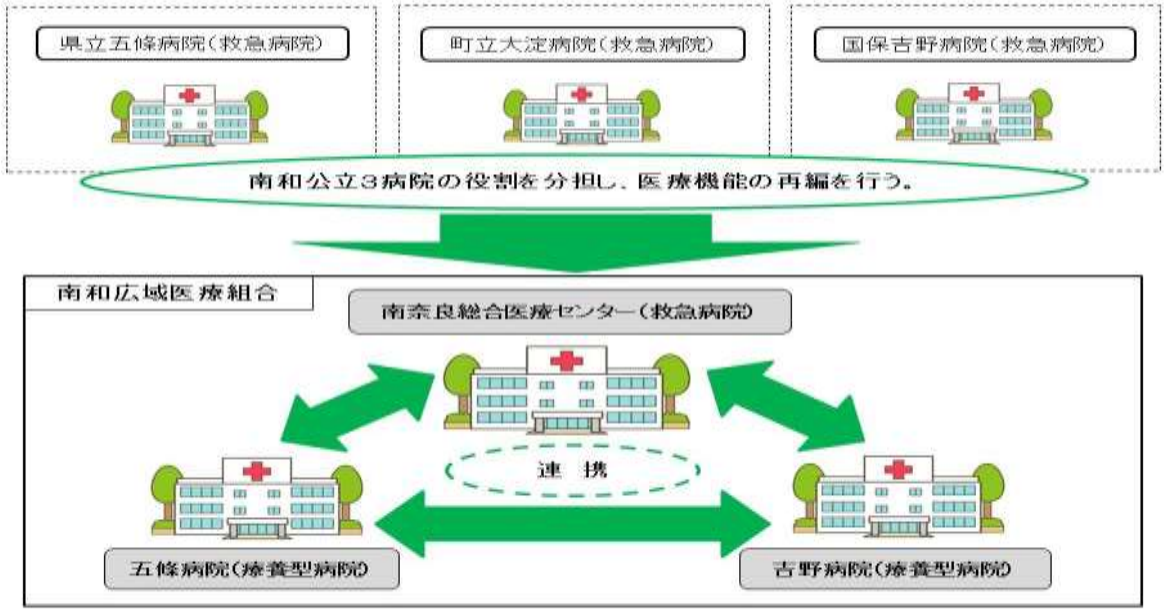
- 五條中心市街地地区
- 五條病院周辺地区

五條病院周辺地区の概要

南和公立3病院の再編

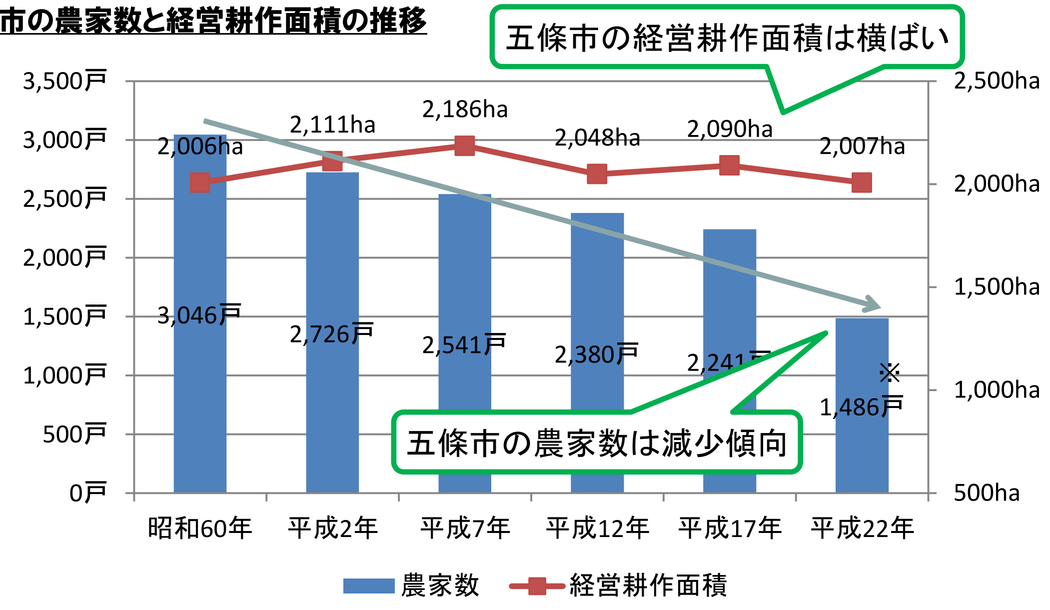
＜現状＞
○県立五條病院・町立大淀病院・国保吉野病院の南和公立３病院間で役割分担が出来ていない。
○南和公立３病院間の医療機能低下に伴う患者数の減少、経営状況の悪化

＜方針＞
○「南和の医療は南和で守る」を基本理念に、南和公立３病院の役割を分担し、医療体制を再構築する。
○五條病院は療養期を中心とした病院として、身近な外来機能を担う。



五條市の農業(農家数と経営耕地面積の推移)

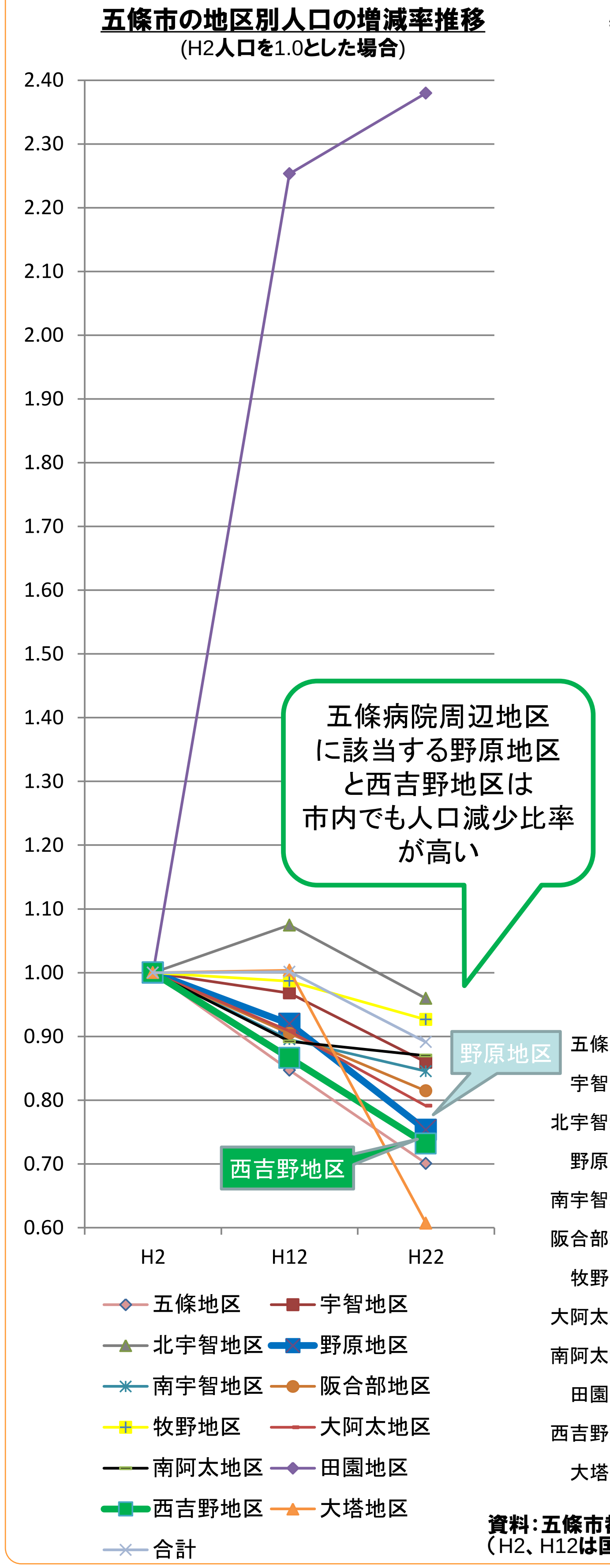
五條市の農家数と経営耕作面積の推移



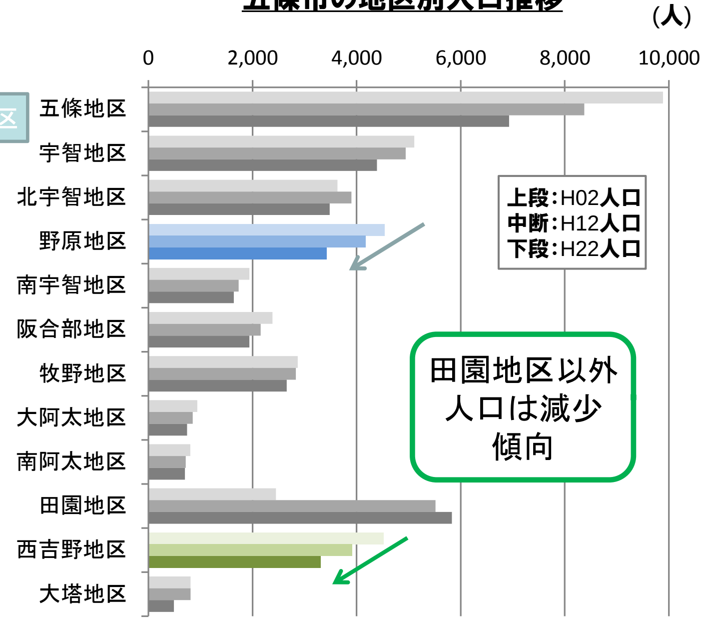
※平成22年の農家数は速報値

資料：五條市都市計画マスタープランより作成（農業センサス）

人口動態(地区別人口の推移)



五條市の地区別人口推移



資料：五條市都市計画マスタープランより作成
（H2、H12は国勢調査結果、H22は10月末時点の五條市住民基本台帳）

五條病院周辺地区の課題（１）

課題1　南和医療圏の機能再編に伴う医療サービス水準の維持

【南和医療圏の機能再編】

南和地域の3つの公立病院で医療分野の役割を分担

↓

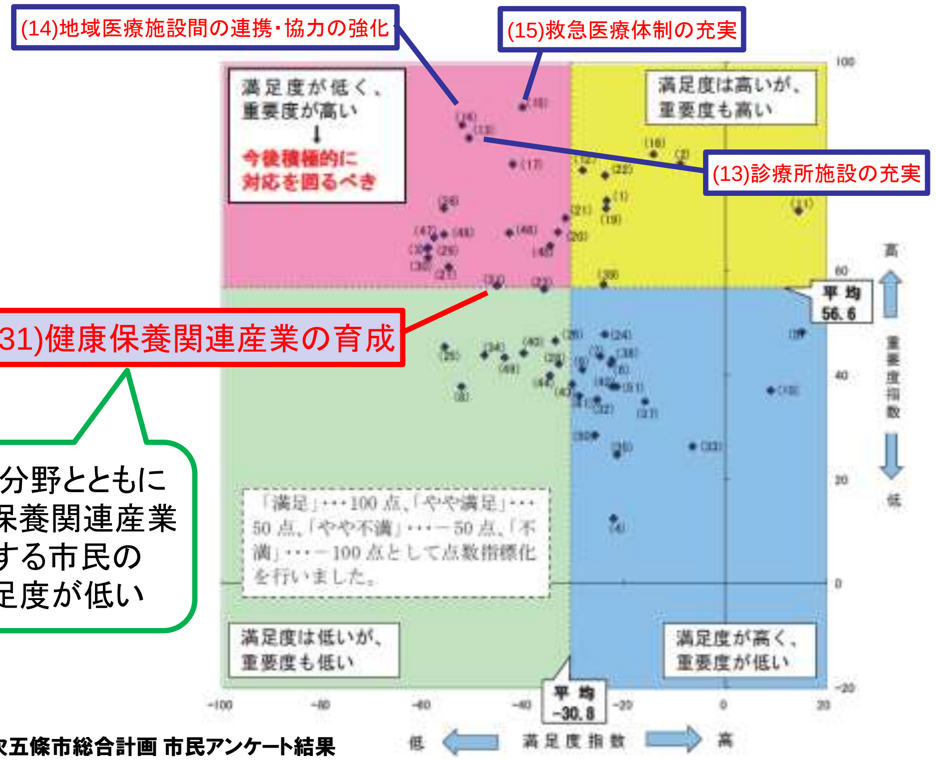
五條病院は、療養期を中心とした病院として南和地域の療養、高齢者医療、身近な外来機能を担う

↓

五條市域での医療サービス水準の維持が必要

出典：奈良県地域医療再生計画

課題3　健康保養産業に対する市民の満足度が低い



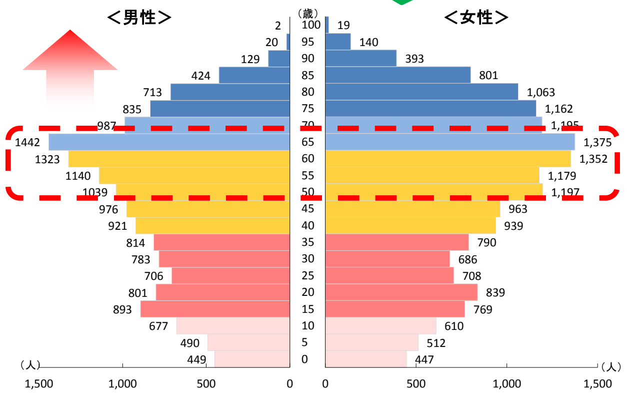
医療分野とともに健康保養関連産業対する市民の満足度が低い

出典：第5次五條市総合計画 市民アンケート結果

課題2　高齢化の一層の進展、要介護認定者は増加の一途

五條市の人口ピラミッド

10年後、人口構成の山が、後期高齢者になる

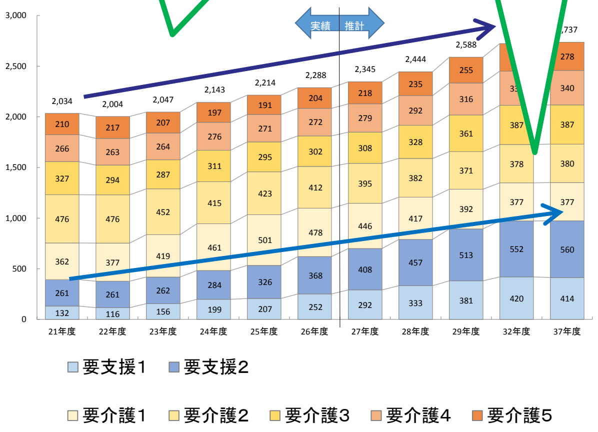


出典：五條市老人保健福祉計画及び第6期五條市介護保険事業計画

五條市の要介護認定者数の推移

要介護認定者はさらに増加の見込み

要支援1・2の増加幅が大きい見込み



出典：五條市老人保健福祉計画及び第6期五條市介護保険事業計画

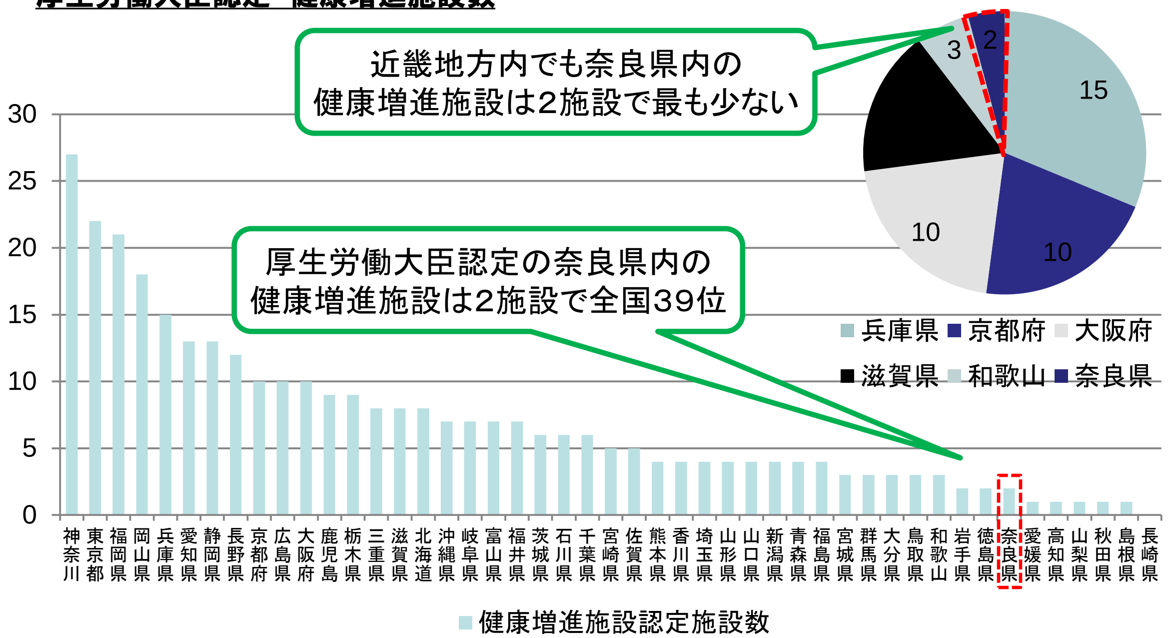
課題4　気軽に運動できる健康増進施設が不足

厚生労働大臣認定　健康増進施設数

近畿地方内での健康増進施設数

近畿地方内でも奈良県内の健康増進施設は2施設で最も少ない

厚生労働大臣認定の奈良県内の健康増進施設は2施設で全国39位



資料：公益財団法人 日本健康スポーツ連盟 公表資料より作成（平成27年11月23日時点）

五條病院周辺地区の課題（２）

課題5　公共交通のサービス水準が低く、地区内移動の利便性が低い

病院周辺への公共交通は路線バスのみであるが便数が少なく、利便性が低い

奈良交通のバス路線図

出典：奈良交通HP バス路線図

県立五條病院前バス停のバス便数

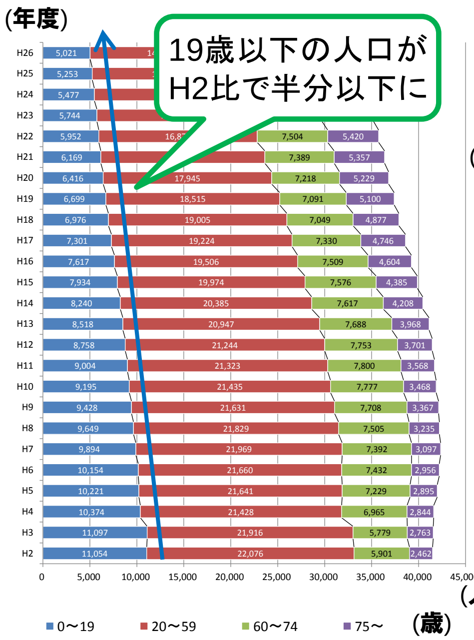
方面	行き先	平日	土日祝
北行き	特急 八木駅	３便	３便
	五條バスセンター	１１便	４便
南行き	新宮駅	３便	３便
	十津川温泉	３便	２便
	城　戸	８便	２便
	野原循環（内回り）	１便	１便

資料：奈良交通HP時刻表より作成

課題7　将来の農業の担い手不足

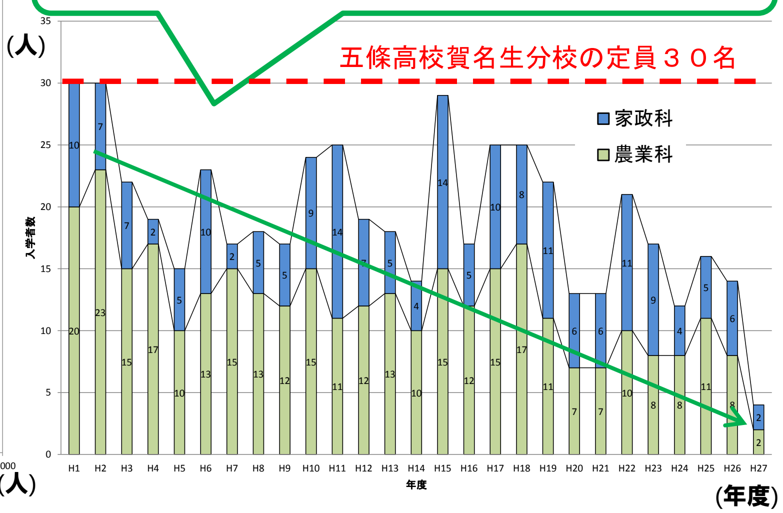
五條市の年齢階層別人口

19歳以下の人口がH2比で半分以下に



五條高校賀名生分校の入学者数の推移

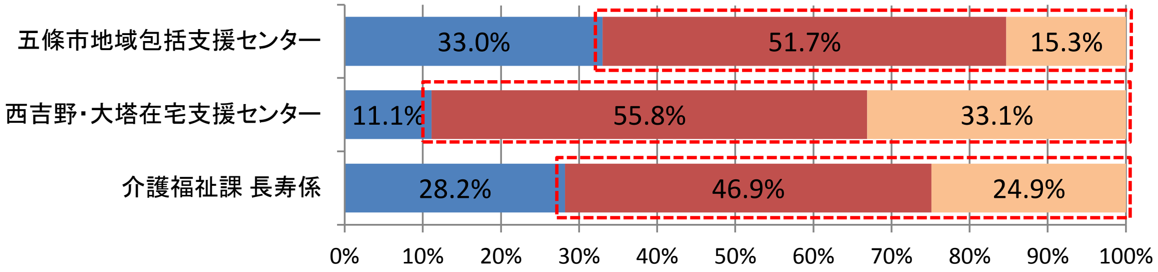
農業の担い手として期待される五條高校賀名生分校農業科のH27入学者数は2名（平成元年頃の1/10）



出典：五條市教育委員会資料

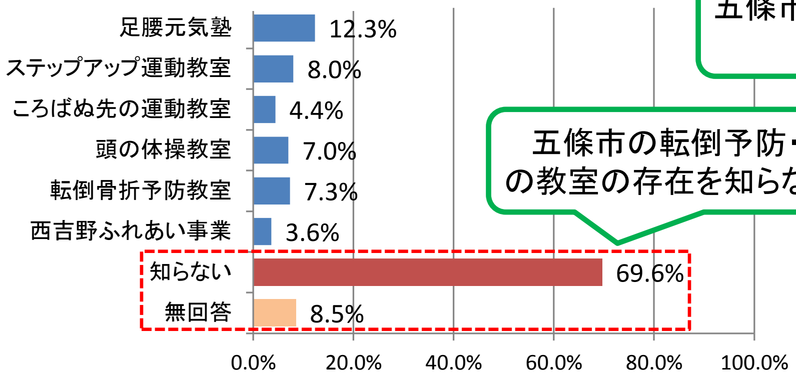
課題6　こころと身体の健康に係る相談窓口の周知不足

五條市での高齢者の相談窓口の認知度



五條市の高齢者相談窓口の存在を知らない方が半数以上

五條市での転倒予防・認知症予防教室の認知度



五條市の転倒予防・認知症予防の教室の存在を知らない方が約8割

資料：五條市老人保健福祉計画及び第6期五條市介護福祉保険事業計画より作成

課題8　中山間地域での若者の流出、急速な高齢化の進展による地域の衰退

五條市の地域別年齢層別人口・就業者数

地域	15歳未満	15～64歳	65歳以上	就業者
旧五條市	3，639人（11．8%）	18，735人（60．5%）	8，594人（27．8%）	13，365人
西吉野町	267人（8．7%）	1，651人（53．9%）	1，147人（37．4%）	1，594人
大塔町	31人（7．3%）	164人（38．4%）	232人（54．3%）	127人
合計	3，937人（11．4%）	20，550人（59．6%）	9，973人（28．9%）	15，086人

資料：H22国勢調査より作成

西吉野町、大塔町で高齢者が占める割合が非常に高く、大塔町は限界集落

若者が地域に残り、また他地域からの移住を促進する施策が急務

まちづくりの方針

まちづくりのテーマ
～健康長寿のまちづくり･五條に住まう人づくり～

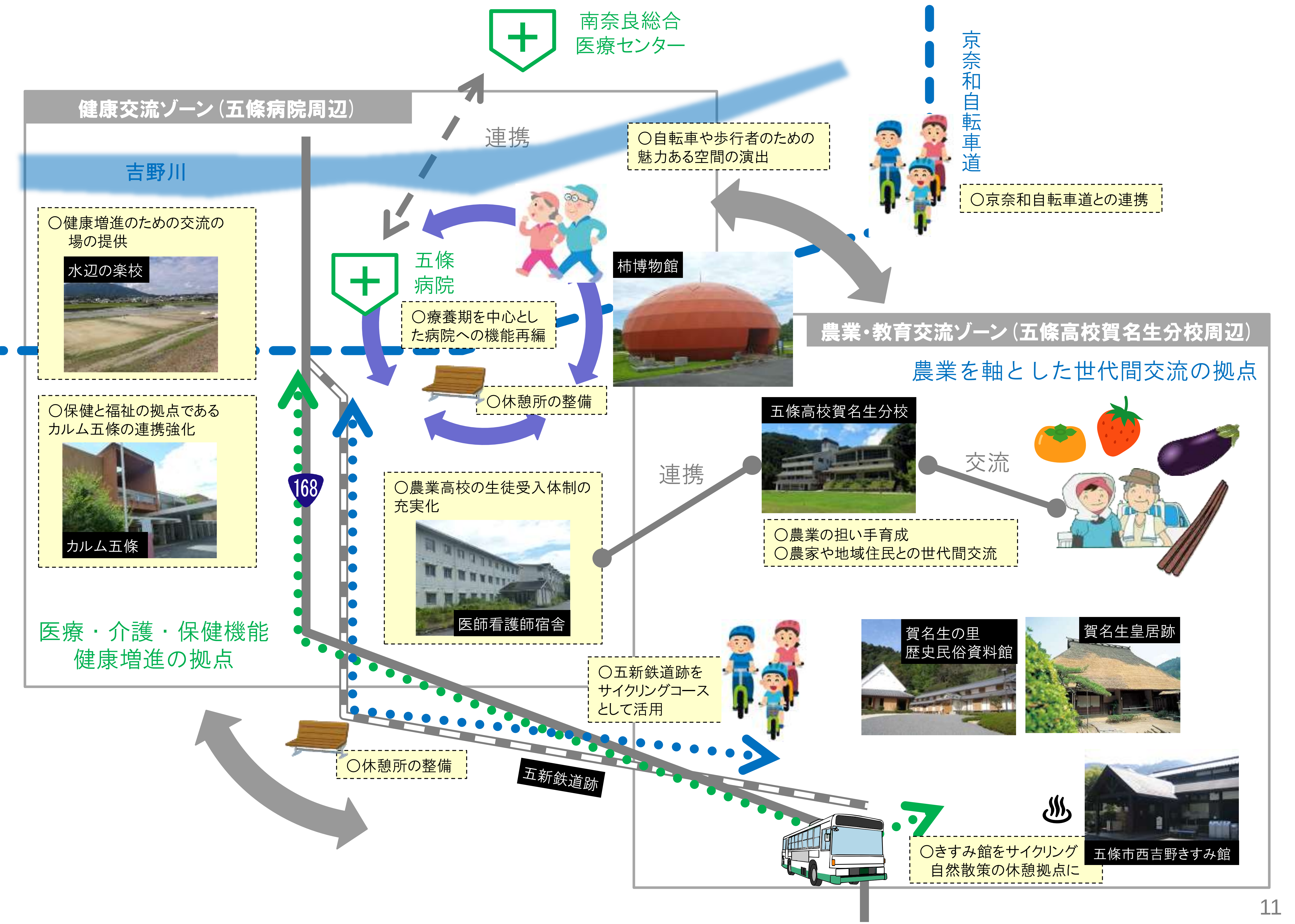
《取り組みテーマ》
①五條病院周辺：医療・介護・保健機能の強化と地域ぐるみの健康増進への取組み強化
②五條高校賀名生分校周辺
：農業の担い手育成、中心市街地との連携及び世代間交流による定住促進

○　平成28年4月の南奈良総合医療センターのオープンに伴い、五條病院が療養期を中心とした病院に機能再編され、五條病院への来院者の流れが大きく変化
　高齢者、要支援、要介護認定者、認知症の高齢者が増加しており、五條病院を核とした「医療・介護・保健機能の強化、健康増進」のまちづくりに取り組むもの

○　五條市の柿の出荷量は日本一と誇れるところであるが、農業従事者の高齢化が進展しており、将来の担い手を確保することが急務
　五條高校賀名生分校（農業科）の全国展開を実現する環境を整え、農業の担い手育成に加え、五條市への定住促進を図るもの

分類	ゾーン	課題・問題点	維持 活用改善 取組体制	対応する方針
医療分野 介護分野 の課題	健康交流 ゾーン	◆南和地域の医療分野の機能再編により、五條病院から救急機能及び一部の診療科が他の病院へ集約される ◆五條市域での医療サービス水準の維持が必要 ◆高齢化の一層の進展、要介護認定者は増加の一途 ◆世代間交流の場が不足	維持 活用・改善	●魅力ある健康・長寿の拠点空間づくり （五條病院のリニューアル） ●南奈良総合医療センター等との連携
中核施設の 機能低下	健康交流 ゾーン	◆健康保養産業に対する市民の満足度が低い	活用・改善	●介護・保健機能の充実に向けたカルム五條と他機関の連携強化
交流 にぎわい 活力 の低下	健康交流 ゾーン 農業・教育 交流ゾーン	◆歴史的遺産である五新鉄道跡が活かされていない ◆健康増進に寄与する施設の更なる充実が求められている	維持 活用・改善	●歴史・文化資源の伝承 ●五新鉄道跡等を活用した自転車や歩行者のための魅力ある空間の演出 ●健康増進のための交流の場の提供 ●健康長寿のための交流空間の演出
移動面 の課題	健康交流 ゾーン 農業・教育 交流ゾーン	◆高齢者の医療、福祉等施設への移動は自動車に頼らざるを得ないが、バスの本数が少なく、利便性が悪い ◆タクシーの頻繁な利用は経済的に負担となり、気軽に参加できない	活用・改善	●医療・介護・保健・観光面でのサービスの向上に資する公共交通ネットワークの構築 ●安全な道路空間の確保
情報発信 不測	健康交流 ゾーン	◆健康に係る相談窓口の周知不測	活用・改善	●こころと身体の相談体制の充実
地域産業 教育分野 の課題	農業・教育 交流ゾーン	◆農業従事者の高齢化が進展 五條市の柿の出荷量は日本一を誇るが後継者づくりが急務 ◆五條市の農業の将来の担い手として期待される五條高校賀名生分校（農業科）の生徒が継続的に定員割れ ◆生徒の全国募集を図りたいが学生寮等の受入体制が整っていない	維持 活用・改善	●五條高校賀名生分校を核とした農業の担い手育成 ●五條に住まう人への支援 ●農林業を軸とした地域との連携 ●農林業・福祉サービス・観光を主体とした労働の場の提供 ●魅力ある地域資源の再発見 ●交流の場づくり

五條病院周辺地区まちづくりイメージ



五條病院周辺地区まちづくり構想図　～健康長寿のまちづくり・五條に住まう人づくり～

平成29年4月に五條病院がリニューアルオープンを予定しており、五條病院周辺地区が大きく変わります！

○健康増進のための交流の場の提供
- グラウンドゴルフ場の整備
- テニスコートの整備
- 休憩施設の整備
- 健康増進イベントの実施
- 水辺の楽校の整備

○自転車や歩行者のための魅力ある空間の演出（五新鉄道跡の有効活用）
- 歩行空間の整備
- 休憩所の整備

○　カルム五條と他機関の連携強化
- カルム五條におけるこころと身体の相談体制の充実

○魅力ある健康・長寿の拠点空間づくり
- 五條病院のリニューアルオープン

○農業高校の生徒の受け入れ施設の拠点づくり
- 五條高校賀名生分校の全国展開のための拠点整備（医師看護師宿舎住宅の有効活用）

○健康増進のための交流の場の提供
- 軽スポーツの場としての健民運動場の活用
- ベンチ等の休憩施設設置

○　歴史・文化資源の伝承
- 御霊神社１３００年祭にちなんだ地域の歴史の再発見

○南奈良総合医療センター等との連携
- 連絡道路の整備
- 公共交通ネットワークの構築（バス網の整備）

○自転車や歩行者のための魅力ある空間の演出
- サイクリングコースの整備
- ウォーキングコースの案内・誘導
- ひと目でわかる健康バロメーターの案内整備

○自転車のための魅力ある空間の演出
- （仮称）京奈和自転車道の整備

○安全な道路空間の確保
- 県道赤滝五條線の整備

○健康長寿のための交流空間の演出
- ウォーキング・サイクリングの休憩所
- 各種健康教室の開催

○自転車や歩行者のための魅力ある空間の演出
- 休憩所の整備
- ウォーキングコースの案内・誘導
- サイクリングロードの整備

公共交通動線

歩行者自転車動線

五條病院のリニューアル

五新鉄道跡

五新鉄道跡を活用した五條高校賀名生分校きすみ館との連携

健康交流ゾーン（五條病院周辺）

五條病院周辺地区まちづくり構想図　～健康長寿のまちづくり・五條に住まう人づくり～

平成29年4月に五條病院がリニューアルオープンを予定しており、五條病院周辺地区が大きく変わります！

農業・教育交流ゾーン（五條高校賀名生分校周辺）